

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ3)の実施状況レポート

| | |
|-------------|------------------------|
| 実施状況把握を行った者 | 福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄 |
|-------------|------------------------|

| | |
|----------------|---|
| 日時・場所 | 日時：平成19年10月 9日 10時～12時 |
| | 場所：福岡市役所15階会議室 |
| PI活動の種類 | 懇談会（空港関連事業者・団体） |
| 所見 （アドバイス等） | <p>参加者が空港を直接利用する業者であるので、特に需要構造に関する質問が多かったように思われる。</p> <p>「需要誘発型」のイメージはPIレポート、口頭説明ともにわかりにくい。「誘発」という言葉のイメージが違うのではないかと思われる。</p> <p>「需要に対応できなくなる」ということに関する説明が「潜在的な需要」という意味で伝わっているのか不明瞭である。「どのように足りなくなるのか」ということをもう少し明確に説明しなければならないように感じる。</p> <p>新・旧空港の併存についての管理者側の見解はPIレポートにも事前に書いておくべきであろう。</p> <p>1日のレポートでも触れたが、現段階では数値化されていない項目に関する質問についての答が中途半端である。第4ステップで検討する、というのは受け答えとしてはやはりいかなものかと思う。</p> |